

難民居住区の学校と日本の学校をつなぐ オンラインツアーの実施

国際協力機構（JICA）は、8月5日（金）にアフリカ・ウガンダ西部チャングワリ難民居住区の学校と日本の学校（同志社中学校および同志社大学）を繋ぐオンラインツアーを実施します。日本でも難民問題への関心が高まっている中で、世界には約9000万人（2021年時点）の方が難民として暮らしており、その中でウガンダではアフリカで最多の約150万人の難民を受け入れています。ウガンダは難民に寛容な国で、多くの難民を受け入れるだけでなく、移動・就労の自由を認めていることで特徴的な国です。

オンラインツアーでは、難民の方にウガンダの難民居住区内の学校やマーケットの様子をガイド形式で紹介してもらい、また現地の方と生徒が直接お話する機会を設けます。本ツアーを通して、日本人の学生による難民問題への関心や理解が少しでも深まることを願っています。

8月末にはアフリカ・チュニジアで第8回アフリカ開発会議（TICAD8）の実施が予定されていますので、その関連記事としてでもぜひご取材・報道をご検討いただければ幸いです。また、オンラインツアーにもオブザーバーとしてご参加いただけます。

取材いただける場合は、お手数ですが、下記問い合わせ先まで事前連絡をお願いいたします。



<オンラインツアー（事前勉強会）日程>

日時	内容	場所
8/5(金) 18:00~19:30	オンラインツアー	Zoom

※ 詳細はお問い合わせください

【本件に関する お問い合わせ先】

JICA 東京 市民参加協力第二課 篠崎

TEL 03-3485-7044 e-mail : Shinozaki.Ai@jica.go.jp